

## 平成28年度国立大学図書館協会賞審査結果報告

1. 応募区分： 図書館活動における功績
2. 対象者： **Library Lovers'** キャンペーン事務局  
(九州大学附属図書館利用支援課)
3. 件名： 「**Library Lovers'** キャンペーン」による図書館活動の活性化
4. 結果： 採択
5. 理由： 本件は、九州地区の大学図書館が合同で実施した「**Library Lovers'** キャンペーン」による図書館活動活性化の取り組みである。

このキャンペーンは、平成22年度に国立大学図書館協会地区助成事業として開始され、有志からなるワーキンググループ（以下「WG」という。）による平成23年度の実施を経て、平成24年度以降は九州地区大学図書館協議会の事業として毎年実施されている。キャンペーン期間は、例年10～11月の約1ヶ月間で、平成27年度の実施で6回目を数えている。

主として学生を対象とした図書館の利用促進、読書推進を第一の目的とするこのキャンペーンは、各館から募集したメンバーによるWGにより企画運営され、九州大学附属図書館に設置した事務局が全体の統括及び連絡調整を行っている。平成27年度の参加館数は41（国立10、公立6、私立25）を数え、地区内の国立大学のほぼ全て、地区内の全大学・短大の実に45%の館が参加しており、設置母体、規模の異なる多数の図書館が大学を越えて合同で実施する事業であることがこの取り組みの特徴である。

キャンペーンへの参加レベルとして「合同企画」から「独自企画のみ」、「広報のみ」まで複数の選択肢を設定していること、通常多大な労力を要する広報等のテンプレートをすべてWGで用意し各館でカスタマイズして使用可能とすること等、参加館の連携感を醸成しつつ個別の負担を軽減し、規模に関わらず多くの館が無理なくキャンペーンに参加できるよう工夫がこらされている。また、ブログやSNSの活用によって、キャンペーン生成物の共有と可視化を図ることで、広域キャンペーンの効果を最大化することを目指している。

実施内容そのものは、図書館の利用促進、読書推進のため全国の大学図書館で一般的に取り組みされているものとも言える。しかし、九州地区という広域にわたり、設置母体と規模の異なる多数の大学図書館が合同で活動することのできる仕組みを整え、その仕組みを活用発展させ6年間にわたって活動を継続している本件のような取り組みは、他に例を見ない。この活動を通して、図書館間でのアイデア・ノウハウの共有とともに、WGメンバー及び参加館職員のスキル向上と人的ネットワークの形成が図られ、地区全体の図書館の人材育成、活性化に大きな貢献を果たしている点は、大学図書館の広域連携事業の成功例として示唆に富むものであり、評価できる。

以上のことから、本件は、図書館活動において顕著な意義を有するものと認められ、「国立大学図書館協会賞選考基準」第4条第1項第4号に該当するものとして、国立大学図書館協会賞に推薦する。